

デジタルコードレス電話作業班 sXGPシステムからの干渉影響に 係る意見について

KDDI株式会社

2019年7月25日

Tomorrow, Together おもしろいほうの未来へ。



① 追加検討を必要とする事項

1 複数キャリアからの影響

2 複数装置からの影響

② 確認をさせて頂きたい事項及び弊社コメント

1 送信キャリア数

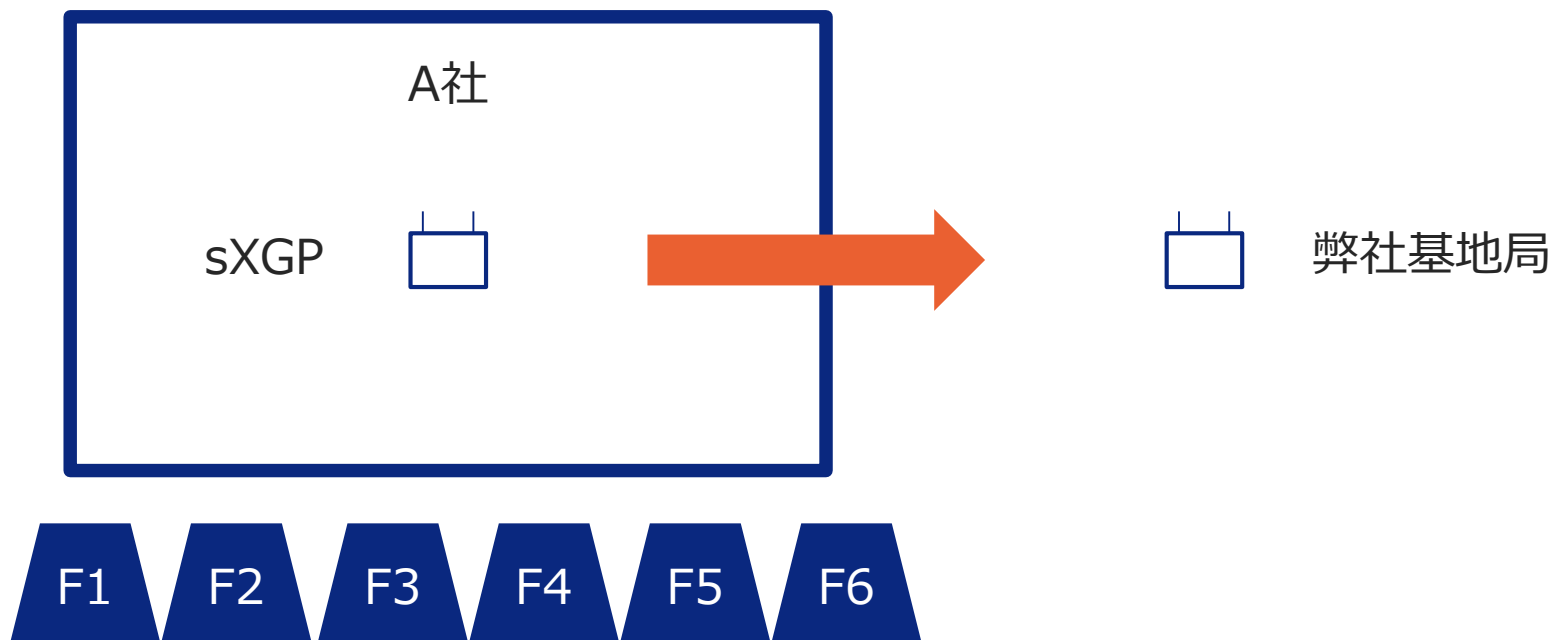
2 送受信比

3 公衆PHSシステム保護措置の取り扱い

4 干渉調整の在り方

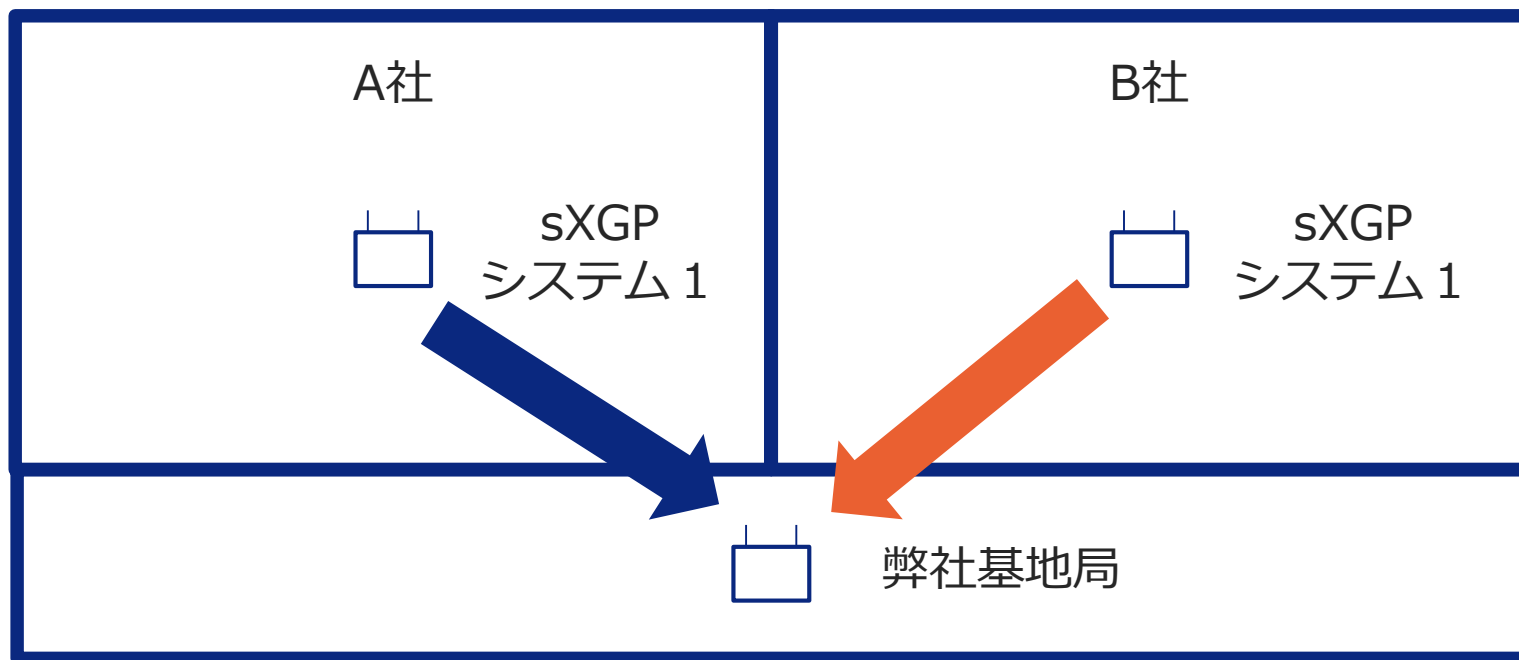
1 複数キャリアからの影響について

- 前回作業班においても口頭にて懸念を提起しておりますが、複数波を希望される場合における干渉影響は、シングルキャリアの検討結果より悪化することを懸念しております。



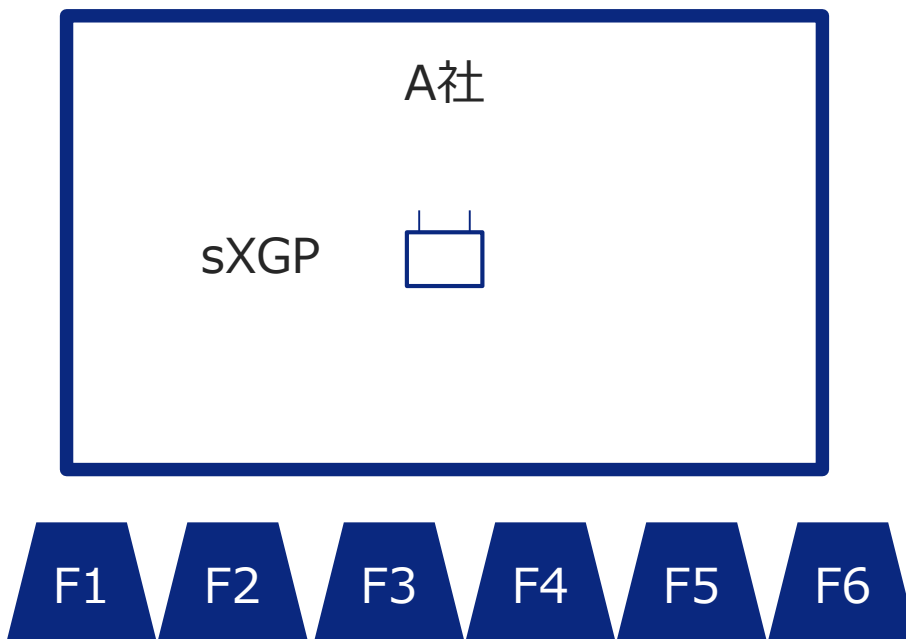
2 複数システムからの影響について

- 複数の会社が入居する施設において、sXGPシステムが設置される場合が想定されますが、この場合の影響については、前回作業班までの検討結果より悪化することを懸念しております。



1 送信キャリア数

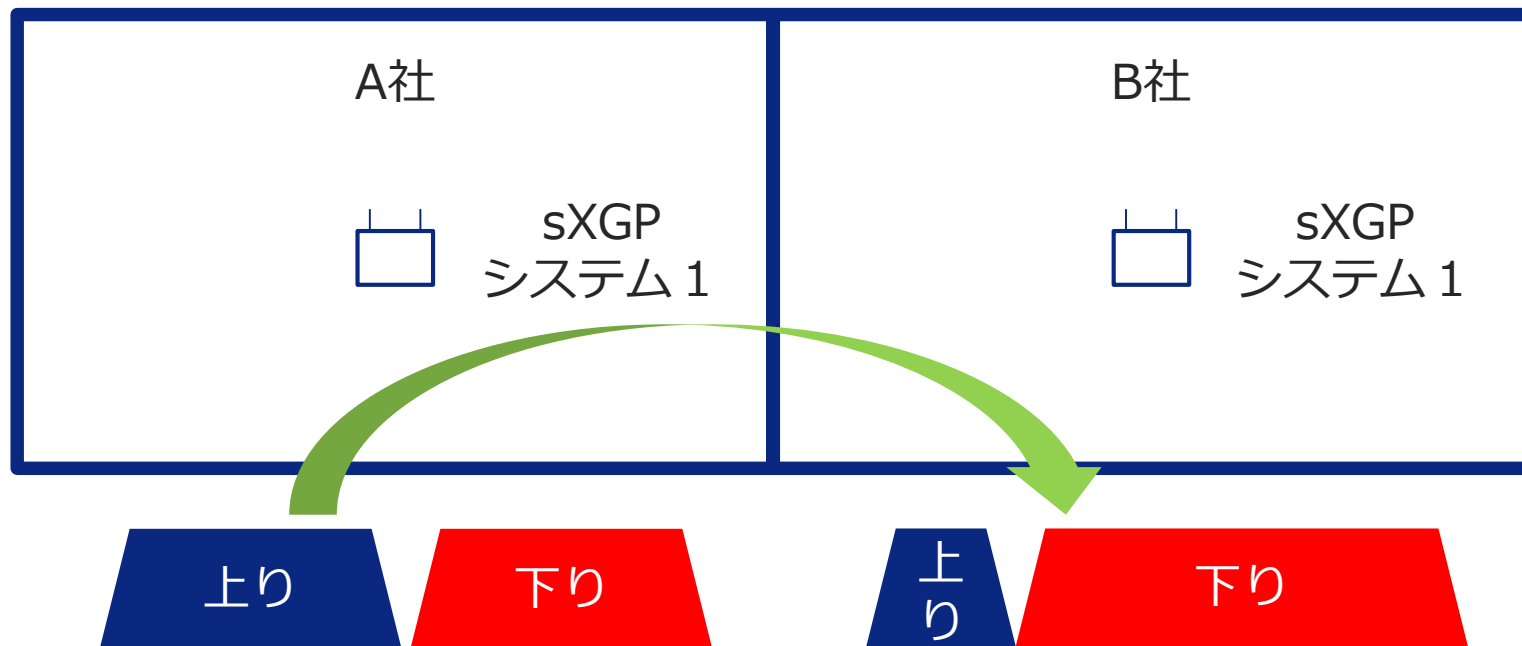
- ①の懸念事項において、複数波からの影響を懸念しておりますが、干渉影響検討においては、希望される送信キャリア数を明確にすることが、必要と認識しております。



2 TDD送受信比

- 弊社への干渉影響に直接関係するものではありませんが、sXGPシステムにおいて、送受信比を固定するか、システム毎の選択とするかについては、明確にする必要があると考えます。

懸案事項②のようなケースでは、sXGPシステム間にて、干渉を生じる懸念があると考えするため。



3 公衆PHSシステム保護措置の取り扱い

- 現在運用中の公衆PHSシステムに対し、弊社携帯電話端末は、干渉影響回避のため、送信リソースブロックの一部の運用制限を実施しております。

今般、公衆PHSシステムの運用停止後の周波数の有効利用検討に際し、新システムの導入が検討されていますが、これら新システムにおいては、弊社携帯電話システムが通常運用（リソースブロックの一部の運用制限を実施しない状態）を前提として検討されるものと理解しております。

4 干渉調整の在り方

- 前回までの作業班の検討結果からは、弊社携帯電話基地局に対し、干渉影響（所要改善量）が残存する結果となっております。

これらについては、設置場所との離隔の確保、アンテナ指向方向の調整、sXGPシステムと弊社基地局の間に遮蔽物を介在することによる減衰の確保等による改善を図ることについては、一定の理解を示すところですが、自営事業者により設置されるsXGPシステムにおいて、これら干渉調整が確実に実施される仕組みの確立が必要と認識しております。

Tomorrow, Together

KDDI

おもしろいほうの未来へ。

au